

防災だより

第5号

平成29年3月5日発行 小田急金森泉自治会 自主防災隊

大地震発生時の行動マニュアル配布にあたり

班長さんを交えて検討した「大地震発生時の行動マニュアル」が、やっと出来ました。

私たちは、この町田で経験したことのないことを想像して、どうするかを考えています。

どんなことが起こるか？ 想像しよう！

自分のすることを知っておこう！

みんなは何しているかも知ろう！

みんなの知恵と力で、まずやってみよう！

このマニュアルは？

- 従前の防災ファイル第2号「大地震発生時の避難行動」の差し替え版です。(従前版廃棄)
- よく目に付くところに掛けて下さい。(トイレは、結構良いかも)
- 地震は、常に「避難準備情報」発令状態です。(水害は徐々に、地震は突然)
- だから平時の備え必要です。きっと快適ではない避難施設での生活にならないためにも。
(家の補強、家具転倒防止、備品、備蓄、屋内安全ゾーン設定、この行動マニュアルも・・・)
- 沢山書いてありますが、原則を示したに過ぎません。
- 他にも、思いもよらないことがあるはず、訓練などで明らかにしましょう。
- 震度5強以上 → 自動的に活動開始です。(5弱以下でも、近所への声掛けを！)
- 大きな地震発生を想定していますので、被害が小さければ途中までで終わりです。
- いざという時、班長経験者は、現班長の補佐をお願いします。
- 時間帯によっては、協力者や防災隊員がいないことがあります。
- その時は、自らの判断、周囲と相談、班長さんらの指示で、近助、共助をお願いします。
- こんなに複雑ではと思うかも、でもまず読んで、これが無いときのことを想像して下さい。

注：従来の避難時協力者の方には、次年度初頭にこのマニュアル方式に合うよう確認します。

自らを守ることで地域が守られ、地域を守ることで自らが守られる！